

## 新型コロナウイルスへの対応に関する基本方針(第13信)

学校法人九州ルーテル学院

理事長 福田 邦子

(公印省略)

新型コロナウイルス感染症は日々状況が変化していることから、今後の対応については、引き続き熊本県からの方針に沿って行動することを基本方針とします。

なお、段階的な措置を取りつつも、これまでどおり学生・生徒・園児・教職員の安全と健康、感染の拡大防止のため、三つの密が重ならないよう安全面を第一に、充実した教育・研究活動等の維持に努めていきたいと思えます。

これまで同様に県境をまたぐ移動等はもちろん、日常的な外出の際も注意を払って過ごしていただき、これ以上の感染拡大防止を図る必要があることを踏まえ、自らと周りの人を守り、ひいては社会を守るための行動をお願いします。

具体的な予防対策につきましては、以下の事項をご確認ください。

何卒、ご理解、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

### 1. 授業について

各部門において、通常授業及び遠隔授業を行っております。

今後、感染拡大の状況によって適宜対応をして参ります。最新の情報につきましては、以下ホームページをご確認ください。

(1)九州ルーテル学院大学 <https://www.klc.ac.jp/>

(2)ルーテル学院中学・高等学校 <http://www.luther.ed.jp/>

(3)認定こども園ルーテル学院幼稚園 <http://luther-yo.jp/>

(4)九州ルーテル学院大学附属黒髪乳児保育園 <https://www.klc.ac.jp/knh/>

### 2. 教職員の勤務等についての基本方針(変則勤務の教職員含む)

感染の状況に応じて、教職員の勤務体制については各部門において検討中です。

引き続き、今後も学びの場の安全を確保するために、「三つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」、「一定の距離を保つ」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続しなければなりません。

#### ①勤務における基本方針

(1)出勤前の検温

(2)人との間隔は出来るだけ2m(最低1m)を空ける

(3)会話をする際は、できる限り真正面を避ける

(4)会話をする際は、マスクを着用する

(5)こまめな手洗いを心がける

②出張・研修・旅行・訪問等

県内外に限らず、**不要不急の移動は延期又は中止(自粛)してください。また、日常的な外出の際も、これまで以上に注意を払ってください。**

**やむをえず他県に移動しなければならない場合は、事前に所属長にご相談ください。**

③海外渡航(出張・旅行等)

入国制限措置と入国後の行動制限措置の双方の措置をとっている国・地域があることを踏まえ、**継続して不要不急の渡航は延期又は中止(自粛)してください。**

④学外への施設開放

**当面は、受入れを中止**とさせていただきます。なお、開放の時期については改めてご案内します。

### 3. イベント等の実施について

**イベント等の実施については、熊本県等の通知に基づいて判断してください。**条件等については、熊本県 HP をご覧ください。但し、いずれにしましても以下のことに十分留意し実施について慎重に検討してください。

(1)イベントでのリスクについて

①密閉された空間での大声での発声や、歌唱や声援、接近した距離での会話等が想定されるイベント等については、事前に所属長にご相談ください。

②開催にあたっては慎重に検討し、感染防止対策を十分に講じてください。

(2)開催前の留意事項

イベント等を開催する場合は事前に参加者へ次のことを周知してください。

①具合の悪い方の参加は認められないこと

②マスクの着用、アルコール消毒の推奨、換気への協力など感染防止対策を求めること

③万が一に備え、**参加申込書等により参加者やスタッフ等の連絡先を把握すること**

(ただし、個人情報の取扱いに関しては十分に注意してください)

(3)会場にかかる留意事項

①定期的に入り口のドアや窓を開けて換気扇を回す等、2方向で換気を行うこと

②人と人との距離(できれば2m)を十分に確保すること

③入場人数や滞在時間を制限すること

④入退出時や集合場所等において十分な間隔を確保すること

⑤会場の入口に消毒設備を設置すること

(4)開催当日の留意事項

①参加者やスタッフ等の体調を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと

②BGMや機械の効果音は最小限に調整し、大声での会話が行われないようにすること

③出演者の発生等を伴うイベント等にあつては、客席との距離を十分に確保すること

④イベント等で出たゴミは、イベント終了後ビニール袋に入れて密封すること。なお、回収に際しては手袋等を着用し、感染防止対策に努めること

⑤イベント外での交流を避けるため、イベント前後や休憩時間などの交流を避けるよう

参加者にアナウンスすること

- ⑥接触確認アプリの使用を推進すること
- ⑦食事の提供をする場合は、大皿での取り分けは避けること
- ⑧当日申込者の連絡先も、把握すること

**4. 学院関係者の皆さまへ**

- (1)外部からのお客様方につきましても、マスク着用の徹底、手指消毒のご協力をお願いいたします。入構の際は、門衛所にて来訪先、入構許可証の提示等、適切な処置をお取りください。
- (2)校内において、検温へのご協力をお願いする場合がありますのでご了承ください。
- (3)学食・大学売店は、当面、座席の間引き、換気等で密な状態をつくらぬよう注意し、感染防止に努めます。※これらの施設は大学の休業に合わせ閉鎖する場合がございます。

**5. 新型コロナウイルスに関連する教職員休業の措置**

「就業規則」第25条(特別休暇)第2項第4号の「感染症予防法による交通遮断又は隔離」及び第5号の「非常災害を受けたとき」を準用し、下記の場合、特別休暇扱いとします。

(1)教職員が罹患し、学院が休ませる場合

※感染がわかった場合は速やかに連絡ください。

(2)感染が疑われる教職員を、学院が休ませる場合

※以下の症状がある場合は、熊本県新型コロナウイルス感染症専用相談窓口(以下(3))

- ・息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感)・高熱等の強い症状が一つでもある
- ・重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある

重症化しやすい方とは、高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を使用している方です。

- ・上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている(症状が4日以上続く場合は早めにご相談ください。)
- ・妊婦の方についても早めに相談窓口にご相談ください。

(3)熊本県新型コロナウイルス感染症専用相談窓口について

(熊本市 新型コロナウイルス感染症情報サイトより)

①発熱などの症状がある場合のご相談

発熱患者専用ダイヤル ☎0570-096-567(24時間対応)

②新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ

新型コロナウイルス感染症専用相談窓口 ☎096-300-5909(24時間対応)

③For Foreign Residents

Multilingual Support Line (外国語専用ダイヤル) ☎092-687-7962

※FAXでの相談も受付けています。

● 熊本市にお住まいの方

熊本市新型コロナウイルス感染症対策課

FAX 番号 096-364-3361 <<受付時間>> 9時~19時

● 熊本市以外の熊本県内にお住まいの方

熊本県健康危機管理課

FAX 番号 096-383-0607、096-383-0608 <<受付時間>> 9時~19時

#### (4) 発熱などの症状がある場合の相談先

季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症を見分けることは非常に困難です。発熱などの症状があった場合は、直接医療機関に行くことは避け、まずはかかりつけ医や最寄りの医療機関など、身近な医療機関にお電話にてご相談いただきますようお願いいたします。

相談する医療機関がわからない場合には、発熱患者専用ダイヤル(☎0570-096-567)にお電話いただくとお住まいの地域の受診案内センターに繋がり、相談できる医療機関をご案内します。

##### ① 業務内容

※新型コロナウイルス感染症の疑いを有する方からの相談への対応

※新型コロナウイルス感染症に関する情報提供

※新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者を診察する医療機関(外来)への受診調整を行う保健所へのつなぎ

### 6. 適切な感染防止対策の基本方針

#### (1) 発熱者等の学校等への入構防止(教職員、来訪者)

① 息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感)・高熱等の強い症状が一つでもある教職員や来校者の入構を制限

#### (2) 三つの「密」(密閉、密集、密接)の防止

① 施設利用の際の入場制限、行列を作らないための工夫や列間の確保(約2m、最低でも1m)

② 換気を行う(可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける)

③ 密集する会議の工夫

(対面による会議を避ける、間隔を空ける、電話会議やビデオ会議を利用等)

#### (3) 飛沫感染、接触感染の防止

① 教職員のマスク着用、手指の消毒、咳エチケット、手洗いの施行

② 校内・事務所内の定期的な消毒

#### (4) 移動時における感染の防止

① ラッシュ対策(自家用車・自転車・徒歩等による出勤の推進)

② 教職員数の出勤や授業の工夫(一部テレワーク等による在宅勤務の実施等)

### 7. よくあるご質問

質問 A) 職員より県外へ移動する申し出があった場合は自粛を依頼することになるのか。

質問 B) 家庭の事情でどうしても県外移動が生じた場合の対応はどうすればよいか。

回答 A) B) 県内外に限らず、不要不急の移動は延期又は中止(自粛)をお願いします。

家庭事情でやむをえず他県に移動しなければならない場合は、事前に所属長に相

談してください。移動する場合は感染防止対策の徹底をお願いします。

質問 C) 県外から帰熊してからの自宅待機期間は必要か。

回答 C) 体調に問題なく濃厚接触者及び接触者でなければ、自宅待機の必要はありません。但し、発熱等の症状がある場合や体調不良である場合は、自宅待機となります。その後の状況次第では保健所の指示に従い、PCR 検査を受診することになると思われます。

質問 D) 自主的に PCR 検査を受けて帰熊した場合の自宅待機期間は何日であるのか。

回答 D) PCR 検査が陰性であれば自宅待機する必要はありません。陽性の場合には保健所の指示に従うことになり入院することになると思われます。退院後は、保健所からの指示による待機期間を経過し、体調が回復すれば出勤可能となります。

## 8. 接触感染アプリのダウンロードについて

接触感染アプリをダウンロードしていただき、濃厚接触の有無の早期発見に努めてください。

アプリはこちらからダウンロードできます。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

(Android の方はこちら)

(iPhone の方はこちら)

